

Rotary International  
2010~2011



地域を育み、大陸をつなぐ

# 中村ロータリークラブ

## 例会記録 (2010~2011)

会 長/岡 本 淳	創 立/昭和38年10月2日
幹 事/大 塚 和 助	例会日/水曜日 12:30~13:30
会報委員長/谷 岡 慶 一	例会場/新ロイヤルホテル 四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553 ●ホームページ <a href="http://www.nakamura-rc.com/">http://www.nakamura-rc.com/</a>

週報 No.2205

第2336回 平成23年3月9日(晴れ)

本日のプログラム: 会員スピーチ 掛水 雅彦会員

3月16日のプログラム: 美化ゾーン例会

3月23日のプログラム: 会員スピーチ

### 【会長挨拶】岡本会長

- ・3月6日は啓蟄の日といわれています。大地が暖まり冬眠をしていた虫が穴から出てくるころだそうです。また、3月は別れの季節でもあります。
- ・5日は、若草園の卒園式に出席してきました。男女2人ずつ、それぞれお別れの言葉を聞きましたが、4人とも大変しっかりしていました。2歳の頃より若草園で育った高知農業大学へ進学する男子生徒は、将来は果樹を研究したい、としっかりとした目標を語ってくれました。私も大変感動しました。

### 【幹事報告】大塚幹事

- ・ガバナーエレクト事務所より  
11~12年度短期交換プログラム派遣学生申込み依頼
- ・地区大会実行委員会より  
登録増員のお願い
- ・宿毛RCより5クラブ親睦ゴルフコンペのご案内 4/24(日)土佐ユートピアCC  
9:20集合 9:50スタート
- ・四万十RCより  
3/22休会 3/29夜間花見例会18:00~
- ・3月30日は休会です  
(定款第6条第1節(C)適用)



## ●本日のプログラム

会員スピーチ 掛水雅彦会員 「新聞のひと味違う見方」



皆さん、ふだん何気なく新聞を見ておられると思いますが、同じものを取材しても、記者の問題意識次第で、出来上がる記事は全く違うものになってしまうという話です。

題材は3つ。実際に私が幡多支社へ来た後、書いた記事です。

では、1番目。ウオームアップの問題です。手元の写真は、巨大アケビの写真です。昨年11月、黒潮町でジャンボアケビがいっぱい採れたと連絡が入りました。写真を撮ったわけですが、さて、3枚の写真のうち、紙面に使ったものはどれでしょうか。

(全員正解)

写真を撮る際、どんなことを気にしているかという、①大きさと多さが一目で分かる②背景がごちゃごちゃしてない③女性が笑顔。右上以外は、アケビの色と背景の板の茶色が保護色になって、分

かりづらいです。

この写真撮影で助かったのは、モデルが良かったことと、もう一つ、巨大な工事現場用のメジャーが、たまたまあったことです。写真の善しあしは記事を読んでもらう上でかなり重要です。これなら、「20cm。人の顔ぐらいある。まるで芋のようだ」、ということが一発で分かり、興味をそそってくれます。ちなみにこのすごいメジャーは、取材に行つてすぐ見つかるような物ではありません。取材に行く1時間前に、電話で大きめのメジャーを探しておいていただけたらありがたいのですが、とお願いしてあったから、用意できたものです。何事も段取りが大切です。

◇ ◇

2番目は、記事を大きくするテクニックです。昨年、中村ロータリークラブは四万十川ウルトラマラソン開催で、四万十市にタオルをプレゼントしました。その時の記事です。高知新聞と他の2紙の記事ですが、違いは一目瞭然です。高知新聞が「応募が4000人を初めて超えた」というところに焦点を当てて書いているのですが、他の2紙は、「棄権者用にタオルを贈った」が見出しです。

正解は高知新聞だと思います。「全国



から4000人も応募のある巨大な大会に成長した。ウルトラマラソンの西の横綱にふさわしい応募数だ」一と伝えているわけです。将来、スクラップをめくる時も、その歴史的価値が見出し一つで分かります。

報道の視点はいろいろありますが、タオルを贈るのは、もう15回目。ものすごく豪華なタオルになったというような話なら別ですが、毎年同じような内容では、ニュース価値は年とともに下がり、扱いも小さくなります。



最後は修学旅行の記事です。四万十市に10年連続で来てくれた神奈川県の高校に、幡多広域観光協議会が感謝状を贈ったというものです。高知新聞は感謝状だけでなく、これまでの幡多地区の修学旅行の推移も入れています。別のA紙は、記念にアカメを放流したことを伝えてます。B紙は、一輪挿しの記念品を県立中村技術学校が作り、プレゼントするというものです。

3つの違いを簡単に総括すると、高知新聞は当日の取材とともに、何日か前に観光協議会にも取材して、過去の修学旅行の経緯も調べて、10回連続の意義を掘り下げています。やはり、同じ題材で

あっても、記者によって焦点の当て方が違います。もう一つ、高知新聞の記事で言うと、目の前で起こっていることを書くだけが記事ではない、ということが言えます。



こういうふうに新聞を複数読むと、物事は多角的に見えてきます。だから、多くの新聞を読んでいただくことが物事の本質を理解しやすいのです。新聞代をもったいないという人もいるでしょう。そういう方は、この新ロイヤルホテル四万十のロビーに新聞がたくさんあるので、読まれてもいいし、翌日に捨てる新聞をもらってもいいかもしれません。そして、同じことの記事なのに、どうしてこんなに違うんだろう、と感じていただくと、そこから新たな問題意識が湧いてくると思います。

問題意識というのは、私たち新聞記者だけでなく、いろんな職種で大切なことだと思います。新聞を読むことで、比較する力を養っていただき、物の見方は一つだけではないということを、皆さんの子供さんたちにも教えていただければ、将来、必ず役に立つと思います。



【委員会・会員発言】 一藤会員

3月19日（土）午後2時10分より四万十スタジアムにおきまして、四万十市内少年野球チームへのボール贈呈式を行います。その後、高知中央RC野球部を迎えての親睦野球大会、午後6時30分より懇親会（新ロイヤルホテル四万十）を行いますので多数のご参加をお願いします。

■岡山会員

13日（日）四万十カントリークラブにて、当クラブゴルフ愛好会第100回記念コンペを開催します。お楽しみください。

四万十RC夜間花見例会  
3/29（火）18：00～岩崎公園にて。

【ニコニコ箱】

大塚幹事：なんとなく、、、。

福永会員：最近職業奉仕が忙しく服装が乱れて申しわけありません。

池田SAA：ニコニコ件数0ではいけませんので、とっていたら呼び水になったようで、、、

【出席報告】

- ・会員総数/46名
- ・本日の出席/34名 73.33%
- ・先週の訂正 M7 73.33%→88.89%



このテーマには2つの意味があります。1つは社会奉仕と職業奉仕の基本理念を理解し、地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にすること。もう1つは、国や大陸が異なる海外クラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にする、ということです。

2010～2011年度国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス